

「心に残る文化財子ども塾」指導案

日 時:令和2年9月1日(火)

3～4校時(10:30～12:30)

場 所:奥出雲町立三沢小学校

対 象:小学校 5・6 年生児童6名

指導者:三沢小学校 1名

埋蔵文化財調査センター 1名

1 主題 古代人の生活に触れてみよう

2 本時のねらい

三沢小学校周辺の遺跡や遺物の話を聞き、体験学習を通じて、自分たちが住んでいる地域の古代の人々のくらしに対する理解を深める。

3 本時の展開

時間	学習活動	学習形態	支援ほか
10:30	あいさつ、紹介	全体	
10:35	1. 縄文時代のくらしについて学ぼう ・縄文時代のくらしについて話を聞く ・縄文時代の土器に触れたり資料を見たりする		・縄文時代と弥生時代の様子を話していただくとともに、三沢地区または近く古墳や遺跡等を紹介してもらう。
	2. 弥生時代のくらしについて学ぼう ・弥生時代のくらしについて話を聞く ・弥生時代の土器に触れたり、資料を見たりする	全体	・縄文時代と弥生時代のことを同時に紹介してもらい、縄文・弥生時代の違いを教えてもらう。
11:20	3. 縄文時代の人と同じように土器を作ってみよう ・土器づくり	個人	・土器の作り方を実際に見せながら説明する。 ・教室にブルーシートを敷いて行う。
11:45	4. 縄文時代の人と同じように火おこしをしてみよう	個人	・昇降口前に移動し、火おこしの体験を行う。
12:15	5. 本時の振り返りをする	個人 ↓ 全体	

4 準備物

(小学校) 遺物を置く長机等、パソコン(パワーポイント)、プロジェクター、スクリーン

(児童) 筆記用具、タオル、汚れてもよい服

(埋文センター) 出土遺物、遺跡関係資料、粘土板、粘土、施文具、土器作り資料、カメラ